

第十一回句会 俳句

【高点句】

- ☆梅雨晴れを待つ新しきスニーカー 〈千恵〉  
☆紫陽花の毬も会釈の回覧板 〈安津子〉  
☆梅雨の雷一人暮らしの子を案じ 〈明美〉  
☆紫陽花や雫をあつめ艶を増す 〈童心〉

【各自一句】

- ・曇天をチクリチクリと立葵 〈莫院〉  
・梅雨晴間いそぎし遍路の汗ひかる 〈童心〉  
・烏賊つりや漁り火蒼く海を染め 〈勇記夫〉  
・教室のサッカーボール梅雨明けろ 〈撫子〉  
・遠景のビルの林立梅雨晴間 〈眞澄〉  
・梅雨蝶は酔ひどれ右へ左へと 〈明美〉  
・制服の自転車急ぐ梅雨の朝 〈安津子〉  
・梅雨の傘色とりどりに始業時間 〈青蛙〉  
・音たてていま開かんと蓮の花 〈千恵〉  
・父の日の祝いあるかと同期会 〈隆司〉  
・ぐれもせでひたすら生きて七変化 〈一馬〉  
・コーヒー滓(かす)撒かれし路地や釣忍(つりし)のぶ 〈静〉

\* 以上、35句(3句ずつ11名、2句1名)より、選句は15名による

\* 高点句は、高得点の句より3句(同点の句がある場合は、第三位の句迄)

\* 各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による